W42K

by KYOCERA

USBドライバインストールマニュアル

もくじ

本書は、「W42K」とパソコンを同梱の「USBケーブル」を使用して接続し、インターネット通信や同梱のCD-ROMの各種ツールをご利用になるための「USBドライバ」のインストール方法を説明しています。

- USBドライバをインストールする ……2
- パソコンに接続する ……3
- 接続状態を確認する ……4
- USBドライバをアンインストールする ……6
- コマンドリファレンス ……8

■インストール／アンインストールする場合は、Administrator（管理者）権限のあるユーザーアカウント（利用者資格）で作業をしてください。詳しくはWindowsのヘルプを参照してください。

※ ユーザーアカウントは、次の手順でご確認いただけます。
・Windows XPの場合：　[スタート]→[コントロールパネル]→[ユーザーアカウント]
・Windows 2000の場合：[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[ユーザーとパスワード]

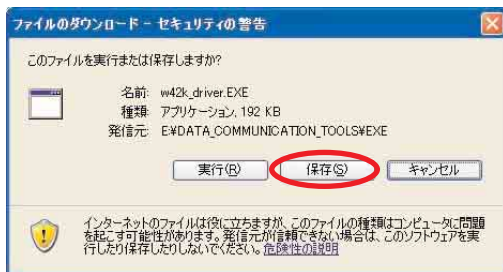
※ 本書の画面はWindows XPパソコンのもので、機種により異なる場合があります。Windows 2000についても、同様の操作でパソコンにUSBドライバをインストールすることができます。

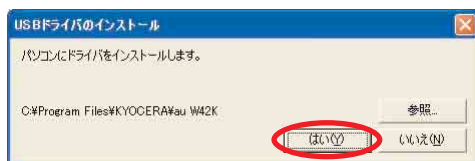
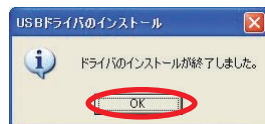
●本製品の使用環境は以下のとおりです。

OS	Microsoft® Windows® 2000/XPの各日本語版がプリインストールされているパソコン（アップグレードされた場合は動作保証いたしません）
CPU	Intel® Pentium® Ⅱプロセッサ300MHz以上、または同等の性能を有する互換CPU
USBポート	USB1.1以上
ハードディスク	10MB以上の空き容量

●本書内で使用されている表示画面は説明用に作成されたものです。
●本書は、お客様がWindows®の基本操作に習熟していることを前提にしています。パソコンの操作については、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。
●本書の内容の一部または全部を無断転載することは、禁止されています。
●本書および本ソフトウェア使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求につきましても、弊社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
●本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
●本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。

USBドライバをインストールする

1. 付属のCD-ROMからインストールする場合は、CD-ROMトップ画面から[データ通信ツール]→[USBドライバ]→[インストール開始]をクリックします。使用許諾契約に同意いただきますと手順2に進みます。
2. “ファイルのダウンロード”画面で［保存］をクリックし、“w42k_driver.exe”をデスクトップなど分かりやすい場所に保存します。

インストール完了するまでW42Kをパソコンに接続しないでください。

1. 保存した“w42k_driver.exe”をダブルクリックしてください。“USBドライバのインストール”画面が表示されます。［はい(Y)］をクリックします。
   ドライバのインストールが始まります。

2. 右の画面が表示されましたら、USBドライバのインストールが完了です。
   ［OK］をクリックしてください。
   ドライバのインストールが正常に行われていることをご確認ください（「接続状態を確認する」4ページ）。

パソコンに接続する

1. 同梱のUSBケーブルをパソコンに接続します。
2. W42Kの電源を入れ、待受画面が表示されたあと、USBケーブルをW42Kに接続します。
3. W42Kに「通信モード選択」画面が表示されます。「マスストレージモード」または「データ転送/通信モード」を用途に合わせて選択します。

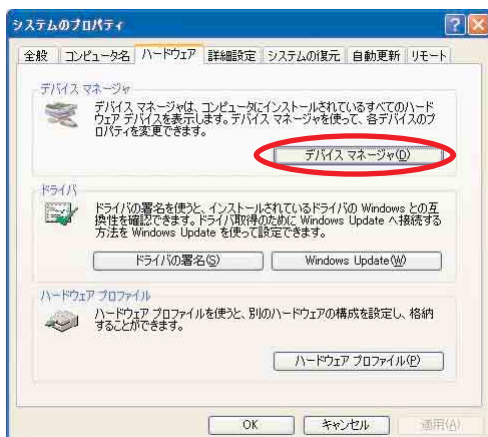
接続状態を確認する

■データ通信/転送モードを選択した場合

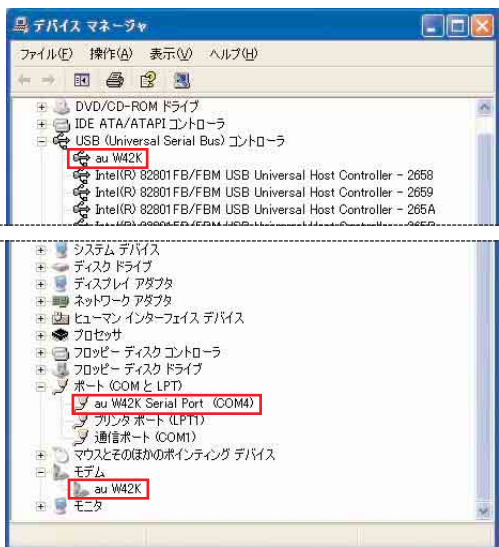
1. コントロールパネルを開きます。

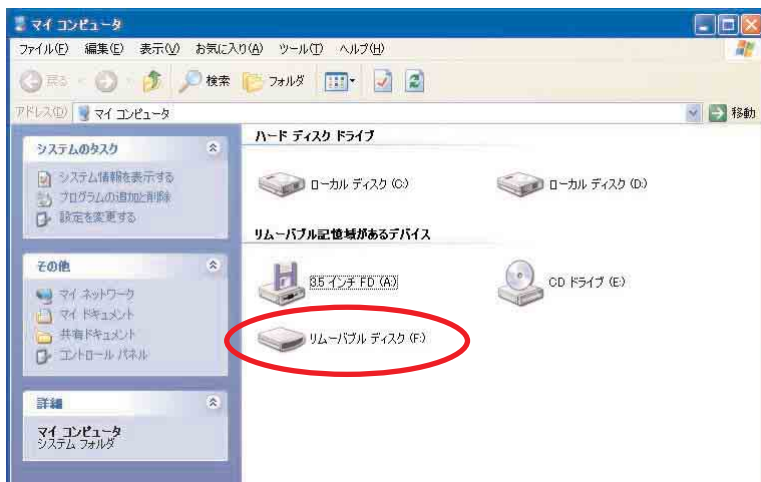
●WindowsXPの場合
[スタート]→[コントロールパネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[システム]の順にクリックします。

●Windows2000の場合
[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[システム]の順にクリックします。

2. ハードウェアタブにあるデバイスマネージャをクリックします。

3. インストール後、デバイスマネージャ上にて右のように認識・表示されていれば、インストールは正常に行われています。

- “USB（Universal Serial Bus）コントローラ”を展開して“au W42K”が表示される。
- “ポート（COMとLPT）”を展開して“au W42K Serial Port”が表示される。
- “モデム”を展開して“au W42K”が表示される。

※ デバイスマネージャで表示されない場合や“？”マークが表示されている場合には、USBドライバの再インストールを実行してください。
※ デバイスマネージャの上部メニューの[表示]設定を[デバイス（種類別）]にしてください。
※ COMの番号はパソコンの環境によって異なります。

■マスストレージモードを選択した場合

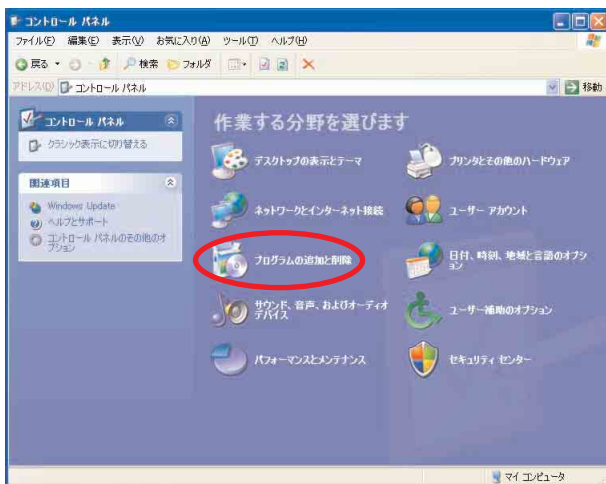
1. パソコンの“マイコンピュータ”を開いて「リムーバブル ディスク」が表示されることを確認してください。

● USBドライバをアンインストールする

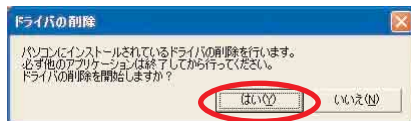
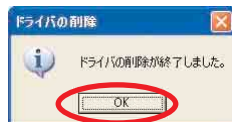
USBドライバが正常にインストールできない場合や、USBドライバならびにW42Kが正常に認識されていない場合には、USBドライバの再インストール（一度削除してからインストール）を行ってください。

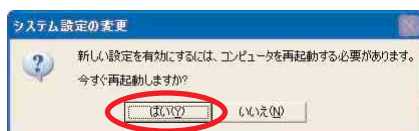
- **編集中のファイルや他のソフトウェアを開いているものがありましたら、あらかじめデータを保存し、終了しておいてください。**
- **W42KからUSBケーブルを外してください。**

1. コントロールパネルを開きます。

●WindowsXPの場合
[スタート]→[コントロールパネル]→[プログラムの追加と削除]の順にクリックします。

●Windows2000の場合
[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[プログラムの追加と削除]の順にクリックします。

2. “au W42K Software”を選択し、［変更と削除］をクリックすることで、“USBドライバ”の削除が開始されます。

3. USBドライバの削除を確認する画面が表示されますので、[はい（Y)］をクリックします。

4. 右の画面が表示されますので、［OK］をクリックします。

5. パソコンの再起動の実行を促す画面が表示されますので、起動している他のアプリケーションをすべて終了させ、パソコンからUSBケーブルが外れていることを確認してから、[はい（Y)］をクリックします。パソコンが再起動されます。

再起動後、USBドライバのインストールを行ってください。

コマンドリファレンス

ATコマンド

ATコマンドの入力方法

ATコマンドは、“AT”に続いて“コマンド”と“パラメータ”を入力する。
（例）ATE1（コマンドエコーを有りに設定する）

コマンド	機能	説明（*は初期値）
A/	コマンドの再実行	直前のATコマンドを再度実行する
ATD	ダイヤル	オフフックし電話番号をダイヤルする
ATEn		コマンドエコー有無の設定 n=0　コマンドエコーしない n=1* コマンドエコーする
ATP	パルスダイヤル選択	パルスダイヤルを選択
ATQn	リザルトコードの制御	n=0* リザルトコードを返す n=1　リザルトコードを返さない
ATVn	リザルトコードの選択	n=0　数字形式 n=1* 文字形式
ATZ	ソフトウェアリセット	工場出荷状態に初期化する
AT&Cn	CF（DCD）信号の制御	n=0　常時ON n=1* 相手モデムのキャリアを検出したときON
AT&Dn	CD（DTR）信号の制御	n=0　CD信号を無視して、常時ON とみなす n=1　CD信号OFFによりオンラインコマンド状態へ移行 n=2* CD信号OFFにより回線を切断しオフラインコマンド状態へ移行
AT&F	工場出荷時設定への初期化	各種コマンドのパラメータ値やSレジスタの内容を工場出荷時に戻す

Sレジスタ

Sレジスタの設定方法

“AT”に続いて“Sn ＝ X”を入力する。（n:レジスタ番号、X:設定値）

Sレジスタ参照方法

“AT”に続いて“Sn?”を入力する。設定値が表示される。（n:レジスタ番号）

レジスタ	機能	初期値	設定範囲
S3	CR キャラクタコードの設定	13	13のみ
S4	LF キャラクタコードの設定	10	10のみ
S5	BS キャラクタコードの設定	8	8のみ

リザルトコード一覧

数字	文字	説明
0	OK	コマンドを正常完了
1	CONNECT	相手モデムと接続
3	NO CARRIER	キャリアが検出できない
4	ERROR	コマンドエラー
29	DELAYED	発呼規制中